

令和4年度 富士市障害者自立支援協議会 〈 研修 部会 〉 報告

○年間活動報告	<p>奇数月の第4木曜日に部会開催。昨年度と同様、今年度も各研修担当を決め研修を実施した。</p> <p>今年度は3つの研修（うち1つは連続講座）を開催。</p> <p>1. 新規採用職員向け研修 ～富士市の福祉と対人援助について気軽に学ぼう～ （日時）6月28日（火）午前 （対象者）新人職員なら誰でも （参加者）約40名 （内容）自立支援協議会の説明、障害福祉サービスに関する説明 対人援助についてのグループワーク</p> <p>2. 障害とつながる医療のはなし （講師）県立こころの医療センター 精神科医師 五條智久氏 （日時）10月27日（木）午前 （対象者）障害児者の支援に携わる職員・教員 （参加者）約70名 （内容）医療機関が知りたいケースの情報、薬の効果と副作用など</p> <p>3. ケース支援実践連続講座 zoom 開催 ～ケース検討から実践へ！事業所全体で取り組む5か月間！～ （日時）1回目 8月31日（水）午前「公開ケース検討会」 2回目 1月31日（火）午前「実践報告会」 （講師）社会福祉法人 はるにれの里 自閉症地域生活支援センターなないろ 所長 加藤潔氏 （対象者）福祉サービス事業所職員 （参加者）70名程度 （内容）3つの放課後等デイサービスから事例提供あり、講師のアドバイスを参考に半年間支援を実施、その成果と課題を報告した。</p>
○今年度当初の問題点と地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・経験年数の浅い新人職員向けの研修が少ない。 ・個別のケースの対応について悩んでいる事業所が多い。 ・就業時間が支援時間でもあるため、事業所内で職員研修（OJT）を実施しにくい状況にある。
○部会実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度初めて“新規採用職員向け研修”を開催。新人職員が集まることで分かち合える入職した時の熱い思いや、実際の支援の場での悩みなどを語り合える場を作ることができた。 ・協議会の研修に興味を持ち参加して下さる事業所が年々増えている。
○今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の福祉サービス事業所からの研修参加が増えている一方、成人の福祉サービス事業所からの参加が伸び悩んでいる。 ・事例を聞きたいというニーズはあるが、事例提供して下さる事業所が少ない。 ・知的障害や発達障害の研修に偏りがちになる。 ・研修部会の役割について考えていく必要がある。

令和4年度 富士市障害者自立支援協議会 〈 社会参加 〉 部会報告

<p>○年間活動報告</p>	<p>【運営会議】 必要時に関係機関と開催（コロナ禍の状況によって日程調整）</p> <p>【企画状況】</p> <p>5月18・26日 精神保健福祉ボランティア養成講座 6月1・11・15日 場所：富士宮市総合福祉会館</p> <p>6月19日 福祉団体スポーツレクリエーション大会 場所：富士市立体育館</p> <p>6月21～30日 SDGs的こころみコンテスト 場所：富士宮市総合福祉会館</p> <p>6月28日 順天堂大学保健看護学部での講演会 場所：順天堂大学（三島市）</p> <p>11月26日 「いろいろな暮らし」トークイベント 場所：地域生活支援センターせふりー（Zoomにて）</p> <p>11月26日 はっぴいずむ富士 場所：法蔵寺内にて</p>
----------------	---

<p>○今年度当初の問題点と地域課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障害についての情報発信や周知をしているが、精神障害や身体障害の情報が多く内容に偏りがある。 ・毎回イベントや企画に参加する当事者や事業所が限定されている。 ・コロナ禍でそもそも企画が中止になることが多い。
<p>○部会実施による効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障害に関する情報や地域で生活している現状などを、福祉関連の人だけでなく一般の人にも周知してもらえる機会が作れた。 ・当事者が地域のイベントや講演会に参加することで、自身の障害についての振り返りや生活を改善していくための方法を理解することができた。
<p>○今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者がイベントや企画に参加するだけでなく、いろいろと発言する機会や福祉について学ぶ機会を提供していく。 ・障害というものが生活の中で当たり前になるように、富士市内の一般の方々と関わる機会を増やしていく。

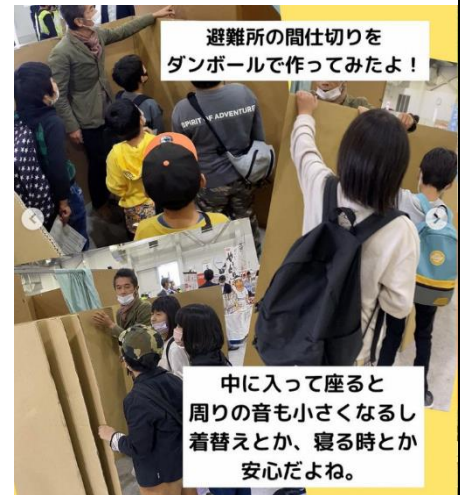
令和4年度 富士市障害者自立支援協議会〈就労部会〉報告

<p>○年間活動報告</p>	<p>【運営会議】 <u>第1回 5月9日(月) 富士市役所5階第4会議室</u> 令和4年度 事業計画の確認、第1回連絡会について検討、地域課題及び話題提供など</p> <p><u>第2回 7月11日(月) 富士市消防庁舎3階研修室</u> 第1回連絡会について検討、地域課題及び話題提供など</p> <p><u>第3回 9月12日(月) 富士市役所5階第4会議室</u> 第1回連絡会の振り返りについて、第2回連絡会について検討、地域課題及び話題提供など</p> <p><u>第4回 1月16日(月) 富士市役所5階第4会議室</u> 第2回連絡会の振り返り、令和5年度 就労部会実施内容について検討、地域課題及び話題提供など</p> <p>【連絡会】 <u>第1回 8月30日(火) 富士市役所5階第2会議室</u> 参加者 21名 就労継続支援B型事業所 14カ所 ○事業所紹介 アクティブ、まつぼっくり ○グループワーク 「工賃アップへの取り組みや、事業所が目指しているものについて」 「支援員のスキル向上の取り組み・実施していることについて」</p> <p><u>第2回 11月14日(月) 富士市役所6階第1会議室、第2会議室</u> 参加者 23名 就労継続支援B型事業所 16カ所 ○事業所紹介 ラビット富士ぐらんで、ラビット富士、きさらぎ富士 ○グループワーク 「家族・利用者の高齢化への対応・配慮していることについて」 「日中の居場所としての事業所の考え方や、方向性について」</p>
<p>○今年度当初の問題点と地域課題</p>	<p>利用者の状態・特性に合った事業所を選べるようにするため、事業所同士がお互いの特徴を知り、それぞれが更なるスキルアップと関わる場の提供を図っていく必要があった。</p>
<p>○部会実施による効果</p>	<p>運営会議では地域課題及び話題提供と、連絡会の内容を検討。連絡会では感染症の予防を図り、対面での会議を実施。そのなかで、参加事業所の取り組み紹介と工賃アップへの取り組み・スキル向上・高齢化への対応・日中の居場所としての考え方など共有する場を対面で実施した。</p>
<p>○今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの事業所が取り組んでいることを知り、協力する機会の拡充。 ・利用者の特性に応じながらも工賃向上への取り組みに関する、就労のノウハウや取り組みに関する情報交換する機会をつくる必要がある。 ・利用者の親亡き後のこと、介護への移行のことなど将来を見据えた対応について情報を知る場の提供が必要である。

<p>○年間活動報告</p>	<p>【運営会議】 R4.5/10 7/12 9/13 11/8 R5.1/10 3/1 ・活動内容や方向性、地域課題に沿った企画の計画等</p> <p>【触法ぐ犯支援 WG】 R4.4/19 6/14 8/30 10/18 12/13 R5.1/11 2/14 ・実際の事例を事例集にまとめるための内容等の検討と作成</p> <p>【企画開催】</p> <p>●<u>支援者向け勉強会</u> ～ふじやま学園の機能（短期入所を活用した緊急対応機能等）について学ぼう～ （日時） R4,7,12 （場所） ふじやま学園 対象；放課後等デイサービス職員 参加者 33名</p> <p>●<u>未就学児の療育・福祉について考える意見交換会</u> （日時） R4,9,13 （場所） 教育プラザ第4会議室 対象；児童発達支援事業所 参加 8事業所 13名</p> <p>●<u>支援者向け勉強会</u> ～富士市立こども発達センターからあの機能について学ぼう～ （日時） R5,2,2 （場所） 富士市役所5階第2会議室 対象；児童発達支援事業所 参加 9事業所 14名</p> <p>●<u>保護者・支援者向け研修会</u> 『早期療育ってなんだろう』 講師；児童精神科医 土岐医師 （日時） R5.2.13 （場所） 教育プラザ 大会議室 対象；市内で発達障害児の支援、教育に携わっている職員 保護者 参加 41名</p>
----------------	--

<p>○今年度当初の問題点と地域課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に児童発達支援事業所が増えている状況を踏まえ、未就学児の支援環境について現状の確認や検討、事業所との連携を考えていく。 ・触法ぐ犯 WG の事例集を完成させる。
<p>○部会実施による効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援事業の集まりの企画、そこで出た意見をもとにした勉強会、また、未就学児の支援について広く参加できる研修会を実施することができた。連携の一步につながる取り組みができたと感じている。
<p>○今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児の支援に携わる機関の連携作りまでは至らなかったため、次年度も継続した取り組みを行い、連携作りにつなげていきたい。 ・広く地域課題について意見をいただく活動や取り組みを考えたい。

<p>○年間活動報告</p>	<p>●近所のあの子はどこに行った？（オンライン講演会） 10/27（木）19:00-20:30 参加者 12名</p> <p>●シリーズ「いろいろな暮らし」①～④10:00-11:00 Zoom</p> <p>①9/17（土）重症心身障害者のグループホームグッドサン</p> <p>②10/22（土）今、自立を目指している 身体と知的の重複障害の ある20代男性とお母さん</p> <p>③11/26（土）地域で生活する 精神障害の日常生活</p> <p>④12/24（土）自立生活センターの紹介・自立生活している当事者</p> <p>⑤2/4（土）映画とトークイベント「普通に死ぬ～いのちの自立～」</p> <p>●ふじ Bousai2022 にブース参加 11/19（土）10:00-14:00 ふじさんめっせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段ボールの間仕切り 展示&体験 ・段ボールベッド展示 ・ヘルプマーク啓発（58部配布） ・ヘルプカード受付（13名登録） <p>●地域イベントを使って 安く楽しく学ぶ【防災編】 1/26（木）10:00-11:00 Zoom 参加者 70名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふじ Bousai2022」に向けての取組みと気づき 放課後等デイサービス ふじ未来サポート 安田氏 ・「個別避難計画」とは？～地域とつながりみんなで助かろう！～ 福祉部 福祉総務課 調整主幹 小林氏 ・「個別避難計画」を作成しての気づき せふりー 相談支援専門員 斎藤氏
----------------	--



<p>○今年度当初の問題点と地域課題</p>	<p>広くいろんな立場の方の声を聴けるようなイベントを企画していきたい。(zoom等活用)</p>
<p>○部会実施による効果</p>	<p>今年度の企画には様々な立場の方の参加者があり、関心をもっていた。けた。</p>
<p>○今後の課題</p>	<p>今年度の取組みを継続し、さらに一歩、地域住民の中にもつながりが広がるようにしていきたい。</p>

○年間活動報告	<p>【事務局会議】 原則毎月第3木曜日に開催 4/21、5/19、6/16、7/21、8/18、9/15、10/20、11/17、12/15、1/19、 2/16、3/16 (予定)</p> <ul style="list-style-type: none">・すべて参集にて実施・全体会議の開催方法と内容の見直し・地域課題等の整理及び検討・ウェブサイトを活用した情報発信・協議会だよりNo.4 (10/1号) の発行 会長挨拶、専門部会・連絡会等の活動報告、お知らせ等 <p>【全体会議】 10/7 ミニ勉強会開催 (ZOOMにて) 後日オンデマンド配信 『災害時の行動について～考えておいてほしいこと』 2/9 R4年度活動報告とグループワーク実施 (ZOOMにて)</p> <p>【代表者会議】 5/12 (ハイブリッド形式で開催) ・令和3年度事業及び収支報告、令和4年度事業計画 ・委託相談支援事業所及び日中支援型共同生活援助事業の報告 3/9 (ハイブリッド形式で開催) ・令和4年度事業報告</p> <p>【推進会議】 4/28、6/23、8/25、10/27、12/22、2/24 ① 障害福祉計画のモニタリング、②移行支援会議のモニタリング、 ③ 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの評価・協議、 ④ 地域生活支援拠点評価・検討、⑤地域課題検討</p> <p>【障害者週間記念事業】 第1弾 12/3 開催 『色々なコミュニケーションを知ろう！感じてみよう！！』 第2弾 1/29 開催 『1日かぎり！手話店員さんのだがし屋オープン』 ※詳細は別紙参照</p>
○今後の課題	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍での協議会運営や取り組み等について (各会議やイベントの開催等)・新事業所含め、より多くの方に参加してもらえるような工夫が必要

【協議会ウェブサイト】URL <<https://jsk-fujicity.jimdofree.com/>>

<p>○年間活動報告</p>	<p>① 定例会（1回/2か月）</p> <p>第1回 5/18 今年度の活動計画</p> <p>第2回 7/20 全体研修会「パワハラについて」 コロナ感染リスク、人員不足、開催時間調整 リモート不可等により、当日参加事業所にて、 今年度開催は延期と決定。</p> <p>第3回 9/21 全体研修の内容検討 講義だけでなく事例を上げて行う事とした。</p> <p>第4回 11/16 全体研修講師「福岡直人」さんの講演会に参加 したピアケア（佐野様）からの報告。 来年度の講演の承諾を頂いた。</p> <p>第5回 1/18 コロナ感染予防の為中止。</p> <p>第6回 2/15 今年度の反省、次年度の活動について （昨年度開催できなかった為、昨年分も含める）</p> <p>◎事業所の近況報告（毎回）</p> <p>◎困難事例の検討等（発案があった場合）</p> <p>② 研修・その他活動</p> <p>・「パワハラについて」の研修会は来年度開催予定</p> <p>外部講師 福岡直人様をお招きし、ハラスメントについて、 管理する立場、心が折れた時の対応など話して頂く。</p>
----------------	---

<p>○今年度当初の問題点 と地域課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染拡大による感染予防対策 ・慢性的なヘルパーの不足と高齢化への対策 ・ヘルパーへのストレスケア、ハラスメント対策
<p>○部会実施による効果</p>	<p>各事業所の情報が集まり有意義な部分もあったが、課題も多く見つける事ができた。</p>
<p>○今後の課題</p>	<p>新型コロナ 5類移行、3/13からのマスク着用が個人判断になるなど、今後の対応が心配される中での働きやすい環境への取り組みや人材不足の解消など。</p>

○年間活動報告	
4月21日	課題分析WG（アンケート集計、計画）
4月28日	スキルアップWG（今年度活動について）
5月11日	運営会議（今年度体制・活動について、WG進捗報告）
5月18日	地域連携WG（児童クラブ・未就学・就労との連携について）
5月19日	スキルアップWG（7/7企画について）
5月26日	広報WG（サービス情報掲示企画、事業所あんない冊子更新）
6月2日	運営会議（新規構成員について、WG進捗報告、全体会議計画）
6月9日	地域連携WG（福祉連絡会について）
6月16日	課題分析WG（アンケート集計、計画）
6月16日	広報WG（サービス情報掲示企画、事業所あんない冊子更新）
6月17日	スキルアップWG（研修企画）
6月23日	全体会議（当会・WG活動計画について、グループワーク）
7月12日	スキルアップWG（スキルアップ研修開催準備）
7月14日	運営会議（WG進捗報告）
7月15日	広報WG（サービス情報掲示企画、事業所あんない冊子更新）
7月15日	地域連携WG（就労支援施設との連携）
7月21日	課題分析WG（行政機関の集計）
9月8日	スキルアップWG（AED研修企画準備）
9月15日	運営会議（WG進捗報告、全体会議計画）
9月22日	課題分析WG（第一弾アンケート配布）
9月22日	地域連携WG（児童クラブ連携、児発研修参加報告）
10月4日	スキルアップWG（研修企画）
10月13日	運営会議（WG進捗報告、全体会議計画）
10月14日	広報WG（サービス情報掲示企画、事業所あんない冊子更新）
10月20日	課題分析WG（アンケート集計、計画）
10月20日	地域連携WG（未来課との連携）
11月8日	スキルアップWG（研修企画）
11月10日	全体会議（WG活動報告、グループワーク）
11月11日	広報WG（事業所あんない冊子についてのアンケート）
11月17日	運営会議（WG進捗報告、全体会議振返り）
11月24日	課題分析WG（アンケート配布方法報について）
11月24日	地域連携WG（児童クラブとの連携について）
12月8日	スキルアップWG（研修企画：座談会詳細について）
12月15日	運営会議（WG進捗報告、次年度活動計画・運営委員について）
12月22日	地域連携WG（福祉サービス利用開始フローチャートについて）
12月22日	課題分析WG（アンケートの新規配布先について）
1月6日	オンライン研修（感染症対策について：スキルアップWG企画）
1月13日	運営会議（WG進捗報告、次年度体制について、全体会議計画）
1月25日	運営会議（WG進捗報告、全体会議計画）

2月16日(予定)	全体会議(WG活動報告、グループワーク)
3月9日(予定)	運営会議(WG進捗報告、次年度体制について、全体会議振返り)
3月16日(予定)	

○今年度当初の問題点と地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の連携の具体性について ・サービス等を必要とする方へ情報が周知方法 ・支援者の支援力や、縦横の福祉サービスに対する知識や情報力 ・抽出された地域課題の適材適所への発信
○連絡会実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において ZOOM の活用も行いながら、小集団でのリアル開催による活動を行い、各 WG の活動は一度も止まることはなかった。お互いの WG 活動を、支援連絡会の参加事業所が有意義な情報や経験として取り入れることができた。 ・より洗練された目的をもった活動を行えた。各 WG において目的達成のための行動を、以前よりも短時間で積極的に行った。 <p>○地域連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービス、放課後児童クラブ、児童期サービス、就労系サービスとの連携について、連携に必要な研修や交流会への参加など、具体的な活動を行った。 <p>○広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『障害児放課後等支援事業所あんない』冊子の内容を更新、既存の配布先へ再配布した。また自立支援協議会 HP への情報展開を行い、冊子作成のデジタル化も進展を見せた。 (配布先) 富士市役所障害福祉課、フィランセ、放課後等デイサービス、児童発達支援、日中一時支援、放課後児童クラブ、相談支援事業、幼稚園、保育園、市内小中学校、富士市特別支援学校、教育プラザへ配布(※市内高等学校、医療機関からも配布要望あり) ・児童発達支援センターみはら園にて『事業所情報掲示』を実施、掲示期間を延長した(3ヵ月程)。 <p>○課題分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題抽出の為のアンケートの集計作業を行い、第一弾を配布した。また新たなアンケート配布先を開拓している。 <p>○スキルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービス、放課後児童クラブ従事者を対象に、～視覚支援、雨の日の活動～(座談会)を ZOOM 開催 ・放課後等デイサービス従事者を対象に、中央消防署のご協力を頂き、心肺蘇生、応急処置研修を実施 ・放課後等デイサービス、放課後児童クラブ従事者を対象に、他害のある子の対応(座談会)を ZOOM 開催 ・放課後等デイサービス、放課後児童クラブ従事者を対象に、皆で考える～性教育～を講師を招いて開催

○今後の課題	<p>○地域連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、未就学、児童クラブ、就労支援等、障がいを抱える方の伴奏支援ができる、つながりのある支援のための連携を図る ・地域を巻き込んだ活動の実現 <p>○広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所情報揭示企画等の広報活動の協力先の拡大 ・サービス情報を得にくい層に向けたアプローチ方法の検討 ・サービスの情報発信の方法や手段について <p>○課題抽出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者、教育機関、医療機関のニーズの把握 ・抽出された課題の情報提供の仕方 ・抽出された課題提供した後のフォローアップ <p>○スキルアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援力向上を要する対象の把握 ・新しい情報の把握や情報共有の仕方、方法について

○今年度当初の問題点と地域課題	<p>連絡会の目的である横のつながりは、問題なく成長を見せている。他業種との縦・横の連携を具体的に行う、コロナで止まりかけた活動を再開することが当初の課題であり、克服できたと感じている。また地域の課題を抽出し、現在展開中です。</p>
○実施による効果	<p>各WGが躍動し、地域連携は範囲を広げて繋がりを持ち、課題抽出をまとめて展開を開始し、スキルアップ研修は実施回数を増やし、初の取組みとなる手法を実施し、広報は案内冊子のページ数を削減しながら告知の幅を広げました。それぞれのWGが自ら考え、行動できた年度だと思う。</p>
○今後の課題	<p>各事業所負担の均等化や、新規事業所の参加しやすい環境づくり。また地域を巻き込んだ活動展開を考えていきたい。</p>

○年間活動報告	<p>第1回 5/17</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から作成していたパンフレットの内容確認（部数など） ・研修について今年度はコロナもあり発生した場合にどのような対応や問題などが起きたか共有したい。 <p>第2回 7/19</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修（コロナ発生時に実際の対策や問題点などを発生した3事業所の方が発表した）実施し、感想等を共有 <p>第3回 9/20 ZOOMでの初開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中野ホーム・高山ホーム・あおぞら第1、2寮 紹介 ・研修内容の確認（11月GH見学会のタイムスケジュールなど） ・7月コロナ発生の研修の振り返り <p>第4回 11/15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修（カノアインター・ハッピーホーム見学）実施 <p>第5回 R5・1/17</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/15 GH見学会のそれぞれの施設の感想、振り返り ・パンフレット次年度修正確認（表紙の色等、修正締め切りは1/31） ・次年度活動内容の検討・案など（相談員との事例検討、GH見学会） <p>第6回 2/21（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の反省、次年度活動計画の作成
---------	--

○今年度当初の問題点と地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム連絡会で今後スキルアップの為の研修会を計画したい。 ・市内のグループホーム関係者に参加してもらいこの会を意義のある場としていきたい
○実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度に新しく出来たグループホームも連絡会に参加してくれた。 ・コロナの蔓延が収まらず、グループホームという共同生活の場で起きた場合こういった対策や問題点があったかを実際起きた事業所の発表で共有することが出来た。これからの対策の参考になった。 ・他のグループホーム見学を行うことで、より具体的に生活をどのようにサポートしているか、どのように暮らしているかを実感する事が出来た。
○今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム連絡会に参加していない事業所があり市のほうからも声かけをしてもらい参加を呼び掛ける。 ・横のつながりを活かし利用者のニーズによって入ることの出来るグループホームを情報共有してはどうか。 ・研修会なども聞くだけのものではなく、意見交換が出来るようなものを計画していく。

<p>○年間活動報告</p>	<p>【運営会議】 4回開催 4月28日(木)・5月16日(木)・7月15日(金)・11月17日(木) (内容)・年間回数・時期・連絡会開催場所・形式・実施日時検討・今後の役割分担・検討事項確認・実行委員任期・各回タイムスケジュールについて</p> <p>【連絡会】 今年度は初年度の為3回開催とした。</p> <p>第一回 6月14日(火)13時30分～15時00分 13事業所参加 ・自立支援協議会より 協議会の組織図・活動内容・生活介護連絡会発足の経緯 ・実行委員の紹介と年間スケジュール ・グループワーク(3グループ) 自己紹介・日中活動内容について・権利擁護研修に向けて(施設の実情と課題・問題について)</p> <p>第二回 9月21日(水) 13時30分～15時30分 11事業所参加 ・「ご利用者様の笑顔を求めて～サビ管としてできること～」と題し、権利擁護・権利意識について研修会 ・グループワーク 事例検討 ・自立支援協議会 協力について・各部会活動について紹介</p> <p>第三回 12月8日(木) 13時30分～15時30分 11事業所参加 ・災害時の対策について情報共有 ・災害が起きた際に不安なこと・課題を共有し、解決に向け防災危機管理課からご教授いただく ・来年度連絡会について(実行委員取り決めについて・連絡会での検討内容など)</p>
----------------	---

<p>○今年度当初の問題点と地域課題</p>	<p>各事業所との横のつながりがなく、情報や課題を共有・参考にしたい。 ・職員教育の困難さや実施方法について検討したい。</p>
<p>○実施による効果</p>	<p>・繋がりができ、お互いに困ったときに相談できるようになった。 ・連絡会で話し合ったことを事業所で共有することにより、富士市の生活介護事業所が同じ認識で支援が提供できるきっかけになった。</p>
<p>○今後の課題</p>	<p>・ニーズに合わせた開催時期や内容の見直し。 ・出席できなかった事業所に連絡会の意義を知ってもらう。</p>